
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年10月28日号

©2009年9月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年9月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内落花生価格は上昇、食用植物油価格は再度下落

2009年9月、山東地区二級落花生仁卸売価格は、前月比6.3%高、前年同月比16.8%安の1トン当たり5,569元/トン、油菜籽買付価格は、高い少なく前年同月比7.2%安の1トン当たり3,700元、湖北地区四級菜種油工場出荷価格は、前月比0.7%安、前年同月比22%安の同7,668元、山東地区四級落花生油の工場出荷価格は、前月を若干下回り、前年同月比30.8%安の同10,200元、天津港パーム油（融点24℃）港到着価格は、前月比6.0%安、前年同月比12.7%安の同5,951元となった。

2 国際植物油原料及び食用植物油価格は再度下落

2009年9月の植物油原料及び食用植物油価格は再度下落した。

カナダ産油菜籽のCNF価格（FOB価格＋運賃）は1トン当たり453ドル、前月比7.0%安、前年同月比17.9%安、南米の枝豆油のCNF価格は同817ドル、同5.1%安、同24.9%安、マレーシアパーム油（融点24℃）のFOB価格は686ドル、同6.4%安、同12.4%安となった。

3 輸入油菜籽価格は国内価格を上回り、輸入大豆油価格は国内価格を下回った

2009年9月のカナダ産油菜籽の通関渡し価格（CIF＋関税等）は、1トン当たり3,925

元と国内油菜油工場入荷価格に比べ225元高となった。米国メキシコ湾における大豆油のFOB価格は同752ドル、元換算で5,135元と、国内山東地区国産大豆油価格に比べ1,760元安となり、輸入大豆油の通関渡し価格（山東省）は、同6,810元で、当地の国産大豆油工場出荷価格に比べ85元安であった。

4 1～8月の植物油原料、食用植物油輸入量は大幅増加

海関統計によると、2009年8月の食用油籽輸入量は、前月比30.7%減、前年同月比13.6%減の338.6万トン、食用植物油輸入量は、同9.7%減、同57.3%増の90.9万トンとなった。

2009年1～8月では、食用油籽輸入量が、前年同期比26.9%増の3,214万トンとなった。そのうち油菜籽は前年の2.6倍の220万トン、その97.3%がカナダ産であった。

食用植物油輸入量は、前年同期比11.5%増の602万トンで、そのうち菜種油の輸入量は、同88.5%増の33万トン、パーム油の輸入量は、同15.2%増の410万トンであった。

5 2008/09年度世界植物油原料の生産量は予測を下回る

FAOの6月の予測によれば、2008/09年度世界植物油原料の予測生産量は、当初の4.305億トンから前年度比0.7%増の3.951億トンに引き下げられた。油脂需要量は前年度比3.1%増の1.616億トンと予測されている。また、世界の油脂とふすま・ぬか等の粕の在庫消費比は各々13.2%（0.4ポイント減）、12.6%（1.0ポイント減）と予測されている。